

## 日常の憩いと災害時の避難の両立

中世の城としての歴史を持ち、平時は市民の憩いの場として、災害時は来街者の避難場所としての利用を想定。

### ① 分かりやすい避難階段

まちなかからの避難しやすさを考慮し、中心市街地から視認しやすく短距離で登れる避難階段を整備。

### ② 歴史への配慮

埋蔵文化財包蔵地であるため、極力原地形を変えない形で整備。トイレ、あずまやも景観に配慮し再整備。

### ③ 市街地や広田湾への眺望

日常の憩いの場、震災を振り返る場として眺望広場を整備。

### ④ 意見交換会での提案を反映

イベント利用できる電源やあずまや、夜間照明等を配置。今後も「みんなで育てていく公園」を目指す。

【整備概要】（再整備後供用開始：2021.10）

全体面積：12,704㎡ 今回整備面積：約3000㎡

工事期間：2020.12～2021.9

全体事業費：約1億6500万円

財源：復興交付金効果促進事業（一括配分）

主な施設：避難階段、トイレ、あずまや

